

2024 岡山の高校図書館プレゼント でーれーBOOKS



でーれーBOOKSとは… 岡山の高校司書によるおすすめ本コンテストです。

図書館には多様なジャンルの本があることを知ってもらいたい!という願いから、小説以外の本を選考対象としています。

岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催し、今回で11回目となります。

でーれーBOOKS2024大賞本には、主人公がある出会いをきっかけに成長する物語を通して、「書くこと」や「考えること」の大切さを教えてくれる作品が選ばれました。



大賞



『さみしい夜にはペンを持って』

古賀 史健, ならの 絵 / ポプラ社

2位



『温かいテクノロジー』

AIの見え方が変わる 人類のこれからが
知れる 22世紀への知的冒険

林 要 / ライツ社

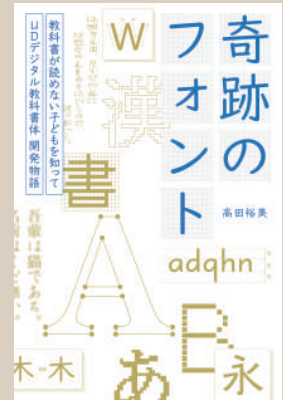
3位



『奇跡のフォント』

教科書が読めない子どもを知って
-UD デジタル教科書体開発物語-

高田 裕美 / 時事通信出版局



ノミネート作品



『(萌えすぎて) 絶対忘れない!妄想古文』

三宅 香帆 / 河出書房新社



『体はゆく できるを科学する 〈テクノロジー×身体〉』

伊藤 亜紗 / 文藝春秋



2024 司書のおすすめコメント でーれーBOOKS



【 著者からのメッセージ 】

このたびは「でーれーBOOKS2024」大賞に選んでいただき、どうもありがとうございます。自分の気持ちをうまく言葉にできない。家族や友だちとの関係がうまくいかない。自分のことを好きになれない……。そんなときには、ぜひ日記をつけてみてください。日記は、自分との対話です。日記を通じて自分の気持ちを知り、自分の悩みを解きほぐし、明日を生きる準備を整えましょう。だいじょうぶ、書けば書くほどおもしろくなります。自分を好きに、なっていけます。



大賞



『さみしい夜にはペンを持って』

古賀 史健, ならの 絵 / ポプラ社

【 司書コメント 】

読み進めるごとに、自分の本当の気持ちに向き合えるような気持ちになりました。／今の時代だからこそ皆「ペン」を持とう。／自分の考えを言語化する事の大切さをあらためて感じさせてくれる。／文章を書くのが苦手だと思込んでいる人におすすめしたい。

2位

『 温かいテクノロジー AI の見え方が変わる 人類のこれからが知れる 22 世紀への知的冒険 』

林 要 / ライツ社



AI やテクノロジーが人の心を温めてくれるなんて思ってもみなかった。／テクノロジーとは何か、ヒトとは何かを考えさせられました。／AI が共存する社会で生きる私たちの未来はどうなっていくのか、わくわくしながら読み進められます。

3位

『 奇跡のフォント 教科書が読めない子どもを知って -UD デジタル教科書体開発物語 』

高田 裕美 / 時事通信出版局



フォントを開発している人がいるなんて考えもしなかった。視野が広がる。／他人の困りごとに気付き、それを解消しようとチャレンジする根気と実行力に、心を動かされました。



『 (萌えすぎて) 絶対忘れない！ 妄想古文 』

三宅 香帆 / 河出書房新社



書物は時代を超えて私たちをつなげてくれます。／“推し” 目線からの読書を通して、古典の勉強がちょっと苦じゃなくなるように思います。／目次ページを読むだけでも、全部読みたくなります。

『 体はゆく できるを科学する 〈テクノロジー × 身体〉 』

伊藤 亜紗 / 文藝春秋



「できるようになること」を科学する方法をおもしろく教えてくれる。／看護、福祉の勉強をしている生徒に読んで欲しい。／刺さるキーワードがちりばめられている。